

### 第3回東部瀬戸内海研究集会

#### 東部瀬戸内海における二枚貝漁業・増養殖の現状とこれから

日時：2023年2月18日（土） 13:00～16:30

場所：Zoomによるオンライン開催（発信：大阪環農水研）

コンビーナー：山本圭吾（大阪環農水研），大美博昭（大阪環農水研），西川哲也（兵庫水技セ）

共催：地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所

参加登録：参加希望の方は [Os-suigi@knsk-osaka.jp](mailto:Os-suigi@knsk-osaka.jp) までご連絡ください。（締切 2月17日 17:00）

問合せ先：大阪環農水研 大美 Email:OmiH@knsk-osaka.jp TEL:072-495-5252

- |                                      |             |
|--------------------------------------|-------------|
| 1. 開会挨拶：木村伸吾（一般社団法人水産海洋学会会長）         | 13:00～13:05 |
| 2. 趣旨説明：山本圭吾（大阪環農水研）                 | 13:05～13:10 |
| 3. 話題提供 ※1 課題 20分 質疑5分               |             |
| 座長：西川 哲也（兵庫水技セ）                      |             |
| (1) 瀬戸内海におけるアサリの増養殖について              | 13:10～13:35 |
| 伊藤 篤（水産機構技術研）                        |             |
| (2) マガキ浮遊幼生の着底に影響を及ぼす環境因子の解明と餌生物の発見  | 13:35～14:00 |
| 松原 賢（水産機構技術研）                        |             |
| (3) 兵庫県の二枚貝養殖漁場における水質環境について          | 14:00～14:25 |
| 高倉良太（兵庫水技セ）                          |             |
| (休憩)                                 | 14:25～14:35 |
| 座長：高木 秀蔵（岡山水研）                       |             |
| (4) 大阪湾におけるマガキの天然採苗・養殖への試み           | 14:35～15:00 |
| 安岡法子（大阪環農水研）                         |             |
| (5) 香川県中讃海域における潜水器漁業の現状及び貝類資源増殖の取り組み | 15:00～15:25 |
| 宮城 良介（香川水試）                          |             |
| (休憩)                                 | 15:25～15:30 |
| 4. 総合討論                              | 15:30～16:30 |
| 座長：山本圭吾（大阪環農水研）                      |             |
| 5. 閉会                                |             |

#### 開催趣旨：

瀬戸内海における貝類漁業は、灘別統計値が存在する2005年の資料（中国四国農政局統計部，2007）によると、海面漁業が約4,000t、海面養殖が約135,000tと海面養殖が大きな割合を占め、さらに瀬戸内海における貝類生産の約97%（約133,000t）をカキ養殖が占める。一方、漁業生産は、周防灘を中心とするアサリの漁獲が大きな割合を占めていたが、1990年代以降大きく減少した。瀬戸内海の貝類漁業はいずれも西部の規模が東部を上回っていたが、播磨灘でのカキやタイラギの養殖、大阪湾でのアカガイ、トリガイの好漁やカキ養殖への新規参入など、近年東部海域の貝類漁業が活気を帯びてきている。本研究集会では、東部海域における貝類、特に二枚貝漁業の現状とそれを取り巻く環境に関する情報を共有するとともに、今後の展開を論議する。